

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	理科	科	生物	学年	3年次	単位数	4単位
教科書	東京書籍	生物	副教材	なし			
レポート 添削指導	12通	スクーリング 面接指導	16回	メディア 視聴票	9通	試験	2回
指導 目標	・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察、実験などの資料を通して、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。						
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容		面接 回数	メディア(東京書籍 教科書授業インターネット講座)
1	4月12日	5月8日	1 編生物の進化 1章生命の起源と細胞の進化	・共通性と多様性をつなぐ進化 ・生命の誕生 ・生物の多様性と地球環境の変化		2	1 編生物の進化 1章生命の起源と細胞の進化
2	5月8日	5月22日	2章遺伝子の変化と進化のしくみ	・遺伝的変異 ・多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖 ・進化の定義と自然選択による進化 ・遺伝子レベルでみる進化 ・種分化		1	2章遺伝子の変化と進化のしくみ
3	5月22日	6月5日	3章生物の系統と進化	・生物の系統 ・霊長類のなかのヒト ・生物の系統分類 ・人類の出現と変遷		1	3章生物の系統と進化
4	6月5日	6月19日	2 編生命現象と物質 1章細胞と物質	・細胞を構成する成分 ・細胞の構造 ・酵素としてはたらくタンパク質 ・生体膜のはたらき ・タンパク質の構造 ・生命現象とタンパク質		1	2 編生命現象と物質 1章細胞と物質
5	6月19日	7月3日	2章代謝とエネルギー	・代謝とエネルギー ・発酵 ・呼吸 ・光合成		1	2章代謝とエネルギー
6	7月3日	7月17日	3 編遺伝情報の発現と発生 1章DNAの構造	・DNAの構造 ・遺伝情報の流れ ・翻訳のしくみ ・DNAの複製 ・RNAと転写 ・遺伝情報の変化		2	3 編遺伝情報の発現と発生 1章DNAの構造
7	7月17日	10月16日	2章発生と遺伝子発現	・原核生物の遺伝子発現の調節 ・選択的遺伝子発現と細胞分化 ・胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 ・発生現象と遺伝子発現の調節 ・真核生物の遺伝子発現の調節 ・動物の発生 ・動物の形と調節遺伝子の発現		2	2章発生と遺伝子発現
8	10月16日	10月29日	3章遺伝子を扱う技術	・遺伝子を増幅する技術 ・遺伝子組換え技術の利用 ・塩基配列を解読する技術 ・遺伝子や細胞を扱う技術の課題		1	3 章遺伝子を扱う技術
9	10月29日	11月13日	3 編遺伝情報の発現と発生 1章動物の刺激の受容と反応 2章動物の行動	・刺激の受容から反応への流れ ・興奮の伝導 ・刺激の受容と感覚 ・効果器 ・動物の行動とは ・学習のしくみ ・ニューロンの興奮 ・興奮の伝達 ・中枢神経系での情報処理 ・刺激の受容と行動		1	3 編遺伝情報の発現と発生 1章動物の刺激の受容と反応 2章動物の行動
10	11月13日	11月27日	3章植物の環境応答	・被子植物の生殖と発生 ・植物ホルモンと光受容体 ・茎や根の成長と環境要因の影響 ・植物の一生の出来事と環境の影響 ・環境要因による発芽の調節 ・気孔の開閉の調節と環境要因の影響		1	3 章植物の環境応答
11	11月27日	12月11日	5 編生態と環境 1章個体群と生物群集	・生態系からみた生物 ・個体群の構造と成長 ・種間の相互作用 ・個体群と環境 ・個体間の相互作用 ・生物群集の成り立ちと多種の共存		1	5 編生態と環境 1章個体群と生物群集
12	12月11日	1月23日	2章生態系の物質生産と物質環境 3章生態系と人間生活	・食物網と物質生産 ・生物多様性 ・生態系の復元 ・人間は自然とどう付き合っていったらよいか ・生態系の物質収支と生態ピラミッド ・人間社会の変化と生態系		2	2章生態系の物質生産と物質環境 3章生態系と人間生活
学習の成果に係る評価規準							
【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。							
【思考力・判断力・表現力】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。							
【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。							
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。 ○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。							
単位の修得の認定に関する基準							
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。							